

くるしお

鹿部町立鹿部中学校

在籍生徒数86名

学校通信 第8号

1A 26名 ひまわり4名

電話 7-3114

2A 26名 ひまわり2名

令和7年11月21日発行

3A 34名 ひまわり2名

《重点教育目標》

「主体的に学び続け、自らの人生を舵取りする力」の育成
スローガン 「一歩前へ」 ～ 考 動・共 生・創 造 ～

「共生」 ～グローバル社会に生きる上で必要な力を育む～

校長 坂 本 学

今年度の教育活動も8か月が経過しました。これまで「考動・共生・創造」の理念を教職員や保護者、地域の皆様と共有し、一人一人の健やかな成長を願いながら教育活動を進めて参りました。その中で、生徒たちの確かな成長を日々実感しております。

中でも私が特に大切にしているのは「共生」です。単に「仲よく過ごす」という表面的な関係ではなく、互いの違いを認め、支え合うことで生まれる真の「共生」の心を育みたいと考えております。

多様な人々とよりよく生きる力を今後の学校生活の中で着実に培って参ります。引き続き、本校の教育活動の推進に対しまして御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

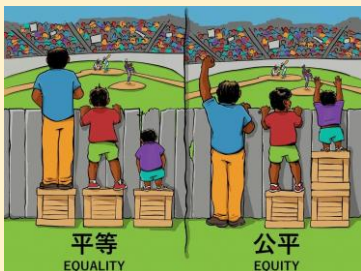
グローバル社会に生きる上で必要な力

「平等」の「平」と「等」は、近い意味をもつ漢字を重ねた言葉です。辞書には「偏りや差別がなく、みな等しいこと」とあります。つまり、「何の扱いを同じにするか」を明確にする必要があります。男女の平等、機会の平等などがその例です。

一方、公平は「公」と「平」という異なる意味の漢字を組み合わせた語で、「公」とは「おおよけ」、すなわち多くの人が納得できる公正さを示しています。公平な審判とは言いますが、平等な審判とは一般に言いません。この違いが示すように両者は似て非なる概念です。

よく知られる図があります。（下図）

背の高さが異なる三人が塀の向こうの試合を観ようとしている場面で、同じ高さの台を与えるのが「平等」。それぞれに必要な高さの台を用意するのが「公平」です。「平等」は全ての人を同じ条件で扱うこと「公平」は一人一人の違いを認め、違いに応じて対応することです。



私自身、子どものころに「平等」と「公平」を混同していた記憶があります。友人が欲しかったおもちゃを買ってもらった時、母に「A君は買ってもらえたのに」と駄々をこねたことがありました。母は「うちはうち」と言い、おもちゃを買ってくれませんでした。当時は納得できませんでした。今思えばそれは「平等」へのこだわりであり、「公平」の視点を欠いていたのだと感じます。

家族でケーキを分けるときはどうでしょう。誰に対しても同じ大きさに切るのが「平等」です。しかし、誕生日を迎えた人や食事制限のある人に配慮して分けるのが「公平」です。状況や目的を踏まえた上で、ふさわしい扱いを考えることこそ「公平」と言えます。「平等」を突き詰めすぎると一人一人の特性や尊厳を見失い「不公平だ」といった誤った主張を生む危険があります。人はそれぞれ異なる背景や事情があり、その違いを認め、尊重し合うところにこそ真の「共生」の出発点です。

多様な価値観が交錯する現代社会において、この「公平」の視点と「違いを認める姿勢」は他者と協働しながら社会を築くために欠かせない力です。真の共生こそ、グローバル社会に生きる上で必要な力と言えるでしょう。

▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽二 者・三者懇談

12月の第1週に二者・三者面談を予定しています。実り多い時間にしていきたいと考えますので保護者の皆様の御協力をお願い申し上げます。

1・2年生は二者懇談で学級担任の先生と保護者の間で、生徒の学校生活の様子や現時点での進路展望を相互に理解し合うことが主な目的です。

3年生は三者懇談で学級担任と生徒、保護者との間で、受験校等を明確にし、進路実現に向けて今後の見通しを共有することが主な目的です。3年生にとって、将来の希望を描き、その実現に向けて一歩踏み出す機会となることを願います。

1年生ふるさと学習

10月16日（木）に1年生が地元の産業や観光などについて学ぶことを目的に「ふるさと学習」を実施しました。実際に地域の職場を訪問し、地域の方々からお話を伺う中、働くことの意義や地元で暮らすことのよさについて考える貴重な機会となりました。11月末に今回の学習の成果を発表する予定です。このたびの「ふるさと学習」に関わって、ご協力くださり職場を提供していただいた地域の皆さまに、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



心に響く道徳の授業



10月22日（水）に、ひのき屋で活動されているミュージシャンのワタナベヒロシさんをお招きし、全校道徳を行いました。

ワタナベさんはギターの弾き語りを交えながら「困難にめげずにくじけず努力を重ね、やり抜く力の大切さ」や「人として生きる喜びを感じる」についてお話をいただきました。講話の中では、音楽活動を通して経験されたことや、夢に向かって挑戦し続ける姿勢について熱く語られ、生徒たちは真剣に耳を傾けて



いました。生徒の中からは「自分がやりたいと思ったことに挑戦すると成功しても失敗しても自分のためになることが分かった。」といった感想も聞かれました。ワタナベさんの言葉からは、夢を持つことや努力を続けることの大切さを改めて感じる時間となりました。

吹奏楽部定期演奏会

10月19日（日）、本校体育館にて吹奏楽部の定期演奏会が行われました。当日は、多くの在校生や本校の卒業生、そして地域の皆さまにもご来場いただき、温かい拍手と声援に包まれる中での演奏となりました。部員たちは、これまでの練習の成果を発揮し、心を込めた演奏を披露しました。3年生にとっては、仲間とともに過ごした日々を集大成となる感動的なステージとなりました。今後はその経験を胸に、それぞれの道で新たな一歩を踏み出していくことと思います。ご来場くださいました皆さま、温かいご声援をありがとうございました。



いじめ調査を実施しました

本校では、生徒一人一人が安心して学校生活を送られるよう、いじめ未然防止と早期発見に取り組んでいます。10月末に第2回いじめ調査を実施しました。今回の調査において学校生活への満足度は概ね良好でした。その反面、嫌な思いをしている生徒もわずかりました。今後も生徒の小さな変化を見逃さず、相談しやすい学校づくりに努めます。ご家庭でも生徒さんの小さな変化がありましたらご連絡下さいますようお願いいたします。